令和５年度　自己評価及び学校関係者評価書

32001「北辰中学校」

札幌市立北辰中学校

1　本年度の重点目標

◎生徒が「通いたい」、保護者が「通わせたい」学校づくり

2　本年度の経営方針

① 「人間尊重」の教育の推進

② 不登校生徒に対する取組の組織的対応のための体制の構築

③ ICTを活用した教育の推進

④ 小中一貫した教育の推進（校種間連携）

⑤ 働き方改革の継続

3　自己評価結果に対する学校関係者評価

自己評価結果（A…「十分である」、B…「おおむね十分である」、C…「不十分である」）

	評価項目	達成状況	自己評価 自己評価及び改善の方策	学校関係者評価 自己評価の適切さ	学校関係者評価 改善策の適切さ
先生や学校の姿勢について	生徒や保護者からの信頼を得ており、保護者からの協力も得られやすい。	A	・様々な事情を抱える生徒も含め、日々の声掛けや見守り、保護者への細やかな対応などから高い評価につながっていると考える。 ・生徒が、落ち着いて授業を受けることができる環境が整っている。 ・上記を今後も継続し、さらに信頼を高められるよう努める。	A	A
	学習環境をしっかり整え、生徒が安心して通学できる学校になっている。	A			
学校関係者評価者による意見	・先生方の指導や、学習環境が安定していることで、生徒及び保護者からも高い評価となっている。中学生の時期は、自分から相談しにくい時期であるので、大変難しいとは思うが、工夫をしながら対応してほしい。				
授業や学習指導について	生徒の学ぶ意欲を高める、「分かる、楽しい授業」を行うため、工夫や改善を行っている。	A	・先生方自身が、もっと「分かる、楽しい授業」とは何か、学ぶ意欲が高まっているので、次年度に向けて、研修等を行っていく。 ・「個別最適な学び」と「協働的な学び」をバランスよく取り入れた授業づくりを進め、生徒の学ぶ意欲をさらに高められるよう努める。 ・学習指導要領に沿って、より適正で、かつ効果的な学習評価になるよう継続的に研修を行う。	A	A
	教材研究や工夫、改善を行い、生徒に基礎・基本をしっかり理解させている。	A			
	学習指導要領に沿った評価基準で評価を行っている。	A			
学校関係者評価者による意見	・ICTなどの機器の発達には目覚ましいものがあるが、やはり実体験を伴った学習が生徒に与える良い影響もあるので、今後も授業を工夫してほしい。 ・今後も、生徒の努力の過程をしっかりと評価し、その努力が認められるような評価をしてほしい。 ・中学校では基礎基本を身につけ、卒業後も学びを深め、成長していけるような生徒を育ててほし				
生活や生徒指導について	学校や社会のルールやマナーを生徒にしっかり教えている。	A	・学校生活を通じて、社会性を育み、より規範意識を高める指導を今後も行っていく。 ・生徒理解に努め、個別最適な支援を行えるよう、教師間の連携を密にし、豊かな心の育成に努める。	A	A
学校関係者評価者による意見	・実社会の変化が激しい中だが、学校の教育活動全体を通して、規範意識を高めていただきたい。 ・この地域は、小学校からしっかりとした挨拶ができているので、ぜひ継続してほしい。そして、新しく着任する先生方にも、この伝統を伝え、継承していってほしい。				

道徳や特別活動、総合的な学習について	道徳の授業を中心に、自分や他人を大切にする気持ちを育てている。	A	・道徳の授業では、考えたり、議論したりする活動を中心に、道徳的実践力を育むことができた。ローテーション道徳を採用することで、多様な考えや学びを提供することができた。 ・行事を通じ、生徒一人一人の自主性、社会性、協調性を高めることができた。 ・総合的な学習の時間では、内容をさらに工夫し、生徒が学ぶ楽しさを感じることのできる学習を展開していく。	A	A
	学校生活や行事等で集団生活の大切さや生きる力、他人を思いやる気持ちを育てている。	A			
	総合的な学習の時間では、生徒に探究的に学ぶ楽しさを感じさせている。	A			
学校関係者評価者による意見	・様々な意見や、考えの共有、議論が大切なので、生徒にしっかり話し合いができるような活動をお願いしたい。 ・働き方改革等あると思うが、学校行事が生徒の心身の成長に寄与しているのも事実なので、できる範囲で生徒に体験させてほしい。				
全体的に	北辰中学校は、子どもの「通いたい学校」、保護者にとって「通わせたい学校」となっている。	A	・学校評価アンケートの結果からも高い評価が得られている。今後も「通いたい・通わせたい学校」であり続けられるよう努める。	A	A
学校関係者評価者による意見	・学校評価アンケートの結果からも、生徒や保護者から高い信頼を受けており、先生方の日々の取組が伝わる。今後もよりよい信頼関係を堅持していけるよう、先生方が余裕をもって研鑽に励み、職務を全うできるような職場環境整備をお願いしたい。				
教職員向け項目	特別な支援の必要な生徒に対し、個に応じた適切な指導や支援を行っている。	A	・個々の生徒の実情や能力、特性に合わせ、ふさわしい個別指導計画の立案と実施、校内体制の整備および関係機関と協力した支援を行っていく。 ・研修活動では、学習評価について外部講師を招聘し研修会を実施した。研修部を中心にさらに時代に合った研修を進めていく。 ・経理や校務処理についても、今後もより適正かつ効率的に処理できるようにする。	A	A
	新しい時代にふさわしい研修活動を行っている。	A			
	個人情報の扱いや適正な経理など、確実で効率的な事務処理を行っている。	A			
学校関係者評価者による意見	・様々な事情を抱える生徒に対して、今後もきめ細かな対応をお願いしたい。 ・外部講師を招いて研修を行うことは、教師として研鑽を積む大事な場であるので、今後も継続してほしい。				

○次年度の具体的方向性として

・今後も本校の学校教育活動について、保護者や地域の方々にも理解していただけるよう分かりやすく発信する。また、引き続き「通いたい・通わせたい学校」を目指した学校教育活動を実践する。

・全職員で全生徒を見守り、子ども一人一人が「自分が大切にされている」と実感できる学校づくりに努め、生徒・保護者からより一層の信頼が得られる関係を構築する。

・「個別最適な学び」と「協働的な学び」を取り入れた授業づくりをさらに進め、「学びに向かう力や人間性」「知識及び技能」「思考力・判断力・表現力」をバランスよく高める学習を目指す。

・生徒一人一人の学習の様子が保護者にも分かりやすく伝わるよう、情報提供に努める。

・北辰中学校らしい行事を大切にし、限られた活動時間および活動環境を効果的に活用して、教育効果を高める。また、学習指導要領に関する研修をさらに進め、より充実した教育課程の編成を目指す。

・多様な生徒の実情や能力、特性に対応するため、学年や関係組織、そして全校の協力体制により学びを支援する校内体制をさらに強化する。

・校内外における効果的な研究・研修により、教師の資質能力の向上を目指す。

・ICTを活用した教育（効果的かつ積極的な端末の活用および、ICTを使った授業づくりの工夫）のさらなる推進を目指す。

★その他、委員の方からのご意見

・北辰中学校の生徒は、卒業後も意欲的に学ぶ生徒が多く、本当に素晴らしい学校だと思う。 ・先生方が家族との時間を確保したり、自分の研修に充てる余裕がないと、学校教育が成り立っていかないと思うので、今後も働き方改革を進めてほしい。 ・失敗から学ぶこともある。教員自ら失敗談を語ることで、生徒に安心感を与えると思う。